

《スローガン》 **親子で読書 深める絆** ～本を読む子は かならず伸びる～

- ▶山形県PTA連合会では、親も子どもと一緒に読書に親しみ、家庭に読書文化の礎を築くために親子読書を推進しています。
- ▶親も子ども共に読書に親しむことで、親子のコミュニケーションを活発にし、子どもも親も心が豊かになり、絆が深まることと思います。
- ▶読書習慣が子どもの学力をアップします。読書習慣は文章を読み解く力と密接に関係しているのです。



子どもが育つ時間はあっという間。けんかをしたり、叱られたり、いろいろあっても、親子で絵本に浸る時間は優しく気持ちを解きほぐしてくれます。…
読み聞かせは「**愛の時間**」なのです。 (学校図書館アドバイザー：五十嵐絹子)

「子どもが親と読みたい一冊」「親が子どもに伝えたい一冊」
「親子で読み合いたい一冊」

応募ありがとうございました！

平成28年度 「親子読書」図書券当選者

《小・中学校の部》

- ・つちやきら さん (干布小)
- ・佐藤 大翔 さん (黒森小)
- ・いしかわたくと さん (田沢小)
- ・小國 史恵 さん (左沢小)
- ・守屋 遥奈 さん (泉小)
- ・松田 陽路 さん (富本小)
- ・梅津 大生 さん (南原小)
- ・江口 史菜 さん (塩井小)
- ・佐藤 薫子 さん (楯岡中)
- ・矢萩 そら さん (葉山中)

学校を通して図書券を贈呈いたします。

※小・中学校の部、親・教師の部、それぞれの応募者の中から10名ずつ抽選での当選となります。

《親・教師の部》

- ・遠藤 洋美 さん (小国小)
- ・秋保由美子 さん (鶴子小)
- ・高橋いづみ さん (葉山中)
- ・五十嵐典子 さん (鶴岡第三中)
- ・佐藤 正勝 さん (大塚小)
- ・高橋 杏実 さん (保護者：田沢小)
- ・くろぬまひろ さん (保護者：立川小)
- ・大山隼之介 さん (保護者：富本小)
- ・阿部 謙一 さん (山口小)
- ・長谷部りと さん (六郷小)



【お知らせ】

応募いただいた“書籍・推薦文(推薦の理由)”を山形県PTA連合会のホームページにアップいたします。是非ご覧下さい！

ホームページ <http://www.ymgt-pta.jp>

親子読書活動紹介 《置賜地区》

地域の協力とともに親子読書への取組

長井市立西根小学校 PTA

目を輝かせて本の世界に入り込んでいる子どもたち。母親委員会が中心となり、朝読書の時間に読み聞かせを行っています。すべての学級で、読み聞かせのためにお父さんやお母さんが選んできた本を紹介し、読み聞かせを進めます。秋には、学校の読書週間に合わせて、親子読書の取組を行います。それぞれの家庭でもこんな優しくゆったりとした時間が流れると素晴らしいと思っています。



また、地域の図書ボランティアの方々からは、月に2回学校に来ていただき、休み時間の読み聞かせや昔話の語り、そして親子読書に向けて本を選びやすくなるような図書室の整備にもご協力をいただいております。もっともっと本が大好きな子どもたちになってほしいと願っています。

親子読書活動紹介 《庄内地区》

「親子読書」から「読書好き」を目指して

三川町立東郷小学校PTA会長 成澤 和久

本校では、朝読書の時間、1・2年生の保護者全員が交代で学校に出向いて、1・2年生を対象に読み聞かせを行う「親子読書」を行っています。そして、1年生時か2年生時のどちらかで親子読書委員として、年2回ある「お楽しみ会」の企画・運営にも参加します。子どもたちが読書を好きになるようPTAとして頑張っています。

★ 親子のコミュニケーションの1つ

「何の本を読もうか」親子で一緒に本を探します。本が決まったら、早速おうちで練習！この時からすでに親子読書が始まっています。読み聞かせ当日は、子どもたちは真剣に聞いて反応してくれます。

★ 楽しみながら本にふれあう「お楽しみ会」

本の読み聞かせの他にも、お楽しみ会では、委員が大型絵本や紙芝居、人形劇等工夫をこらし、楽しい読書の時間を過ごします。

★ 児童会主催の「読書まつり」

委員会活動でも児童が、昼休みに読み聞かせを行い、全校児童が「本紹介はがき」で友達に本を紹介する「読書まつり」を秋に開催しています。「親子読書」を通して、子どもたちも家族も「読書が好き」になってくれるのを願っています。



親子読書活動紹介《村山地区》

町との連携で取り組む「読み聞かせ」活動

河北町立河北中学校 教頭 片桐 清

【中学生だからこそ読み聞かせ】

本校では、町教委生涯教育課の支援をいただき、毎週金曜日に1学年5学級で「朝の読み聞かせ」活動を行っています。今年で5年目の活動であり、読み聞かせの研修を積んだボランティアの方々4名が、朝の忙しい時間を割いて、年間16日間、1学級当たり10回程度実施してくださっています。

「中学生に絵本ですか？」という質問にはあえて「中学生だからこそ読み聞かせです。」と答えたいと思います。中学生にとっての読み聞かせは、多感なこの時期、日々の学習や部活動に追われる生徒たちに、自分自身を見つめたり、価値あるものに触れたりする時間であり、心を癒し、育む場面であり、様々な感性を共有できる空間になっていると感じます。それだけに、読み手の方々はこの選択から真闘勝負です。毎回記入している記録からは、生徒たちに対する熱い思いと、読み聞かせに対する真摯な姿勢が伝わってきます。もちろん、生徒たちの読書励行に繋がっていることは言うまでもありません。

【読み聞かせの記録】

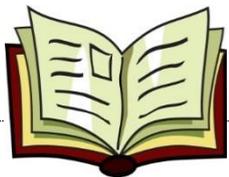
◇はじめはしみりとした内容、それも昔の話で、生徒にとってどうだったのか？切ない様な、悲しい様なことが生徒の感想に触れられていて安心。2冊目は好きなものに目を向け、もっと増やしていこうというメッセージを込めて読みました。

- ①『おばあさんのしんぶん』
松本春野(文・絵) 岩國哲人(原作)
- ②『すきがいっぱい』
マーガレット・ウィズ・ブラウン作
ガーズ・ウィリアムズ絵

【生徒の感想】

(お礼の文章から)

◇私は、最後の日に読んでいただいた『君のゆく道』がとても良いと思いました。この絵本は、これから成長していく私たちへのエールにもなりました。これから起こる良いことや悪いことを人生として受け入れ毎日を過ごしていきたいです。



親子読書活動紹介《最北地区》

親子読書の取組から

新庄市立新庄小学校

昨年度より、新庄小学校では山形県PTA親子読書推進事業の提案を受け、毎月第3日曜日を親子読書の日とし、親子読書に取り組んでいます。本校では、親子読書を通して、親子のコミュニケーションを活性化させるとともに、メディアから離れ、家庭での時間の過ごし方について親子で考えることが親子読書の取り組みの目的の一つと考えています。

本校での取り組み方法は、毎月第3日曜日に①親子で読む本と読む方法を決める。②静かな環境を作る。③親子読書をする。④読んだ本と方法、一言感想をカードに書く。といういたってシンプルなものです。これを一年間カードに書きためていき、3月には、そのカードをもとに親子でこれまで読んできた本について振り返り、一番印象深かった一冊を「〇〇家のベスト本」としています。昨年度は、各家庭から選出された400冊以上のベスト本を、親子読書だよりや学校図書館の親子読書コーナーで紹介しました。取り組み当初の親子読書カードを見てみると、低学年では親から子へ読み聞かせ、高学年になると同じ時間にそれぞれに読みたい本を読むことが多かったようです。しかし、回数を重ねていくごとに、学年を問わず、子から親へ読み聞かせ、2ページずつ交代して読む、おすすめの本を紹介し合って読むなど、親子読書の仕方についても各家庭で話題にされ、工夫されてきています。

「テレビをつけないで読むと静かで緊張しました。でも、うれしかったです。」(2年女)「読み終わってから、お父さんが歴史についてさらにくわしく教えてくれました。」(5年男)「二人でゆっくり読んでいた時間が楽しかった。カタカナもがんばって読んでくれて感動!!」(1年保護者)「息子の読み聞かせを初めて聞きました。また読んでほしいです。」(6年保護者)感想欄には、本の内容についての感想のほか、このように親子読書として過ごした時間への感想も見受けられます。

本校では、本を通して親子での会話や家庭での時間の過ごし方を考える機会となることを願って、今後も親子読書を継続していきたいと思っています。



過去5年間にわたる応募の中から、親・教師・子どもがそれぞれ推薦して下さった書籍「ベスト5」を紹介しします。家族で一緒に読み合っはいかげでしょう。

「親が子どもに伝えたい一冊」ベスト5

他にも親が伝えたい人気の高い書籍は
「アンネの日記」
「手ぶくろを買いに」
「永遠の0(ゼロ)」
などがありました。

☆過去5年間の親の応募総数：2249件

1位



「泣いた赤おに」
著者：浜田広介

2位



「赤毛のアン」
著者：モンゴメリ

3位



「100万回生きたネコ」
著者：佐野洋子

4位



「かわいそうなぞう」
著者：土家由岐雄

5位



「ぐりとぐら」
著者：中川季枝子

「子どもが親と読みたい一冊」ベスト5

☆過去5年間の子どもの応募総数：2323件

1位



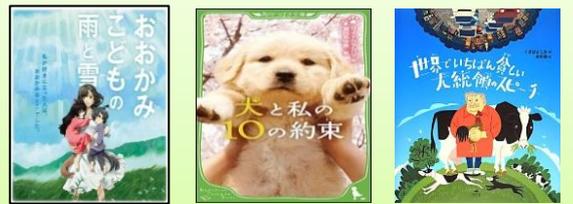
「かあちゃん取扱説明書」
著者：いとうみく
さとうまさこ

2位



「赤毛のアン」著者：モンゴメリ
「泣いた赤おに」著者：浜田広介

3位



「おおかみこどもの雨と雪」著者：細田守
「犬と私の10の約束」著者：川口晴
「世界で一番貧しい大統領のスピーチ」
著者：くさばよしみ

4位

- ・「ココロ屋」 著者：梨屋アリエ
- ・「坊ちゃん」 著者：夏目漱石
- ・「スイミー」 著者：レオ＝レオニ
- ・「ヘレンケラー」 著者：島田 恵 訳
- ・「おいしいのぼうけん」 著者：ふるたたるひ
- ・「おまえうまそうだな」 著者：宮西達也
- ・「西の魔女が死んだ」 著者：梨木香歩
- ・「僕らの七日間戦争」 著者：宗田理
- ・「ハリーポッターと賢者の石」 著者：J・Kローリング

5位

- ・「100万回生きたネコ」 著者：佐野洋子
- ・「きみの友だち」 著者：重松清
- ・「十五少年漂流記」
著者：ジュール・ヴェルヌ

【あとがき】

子どもたちは、様々なジャンルの書籍を読んで楽しんでいることが分かりました。読書を通して家族のコミュニケーションをさらに深めたいものですね。